

かんきょうはくしょ

ふるさと環境白書

ゆたかなふるさとを共につくるまち なかの



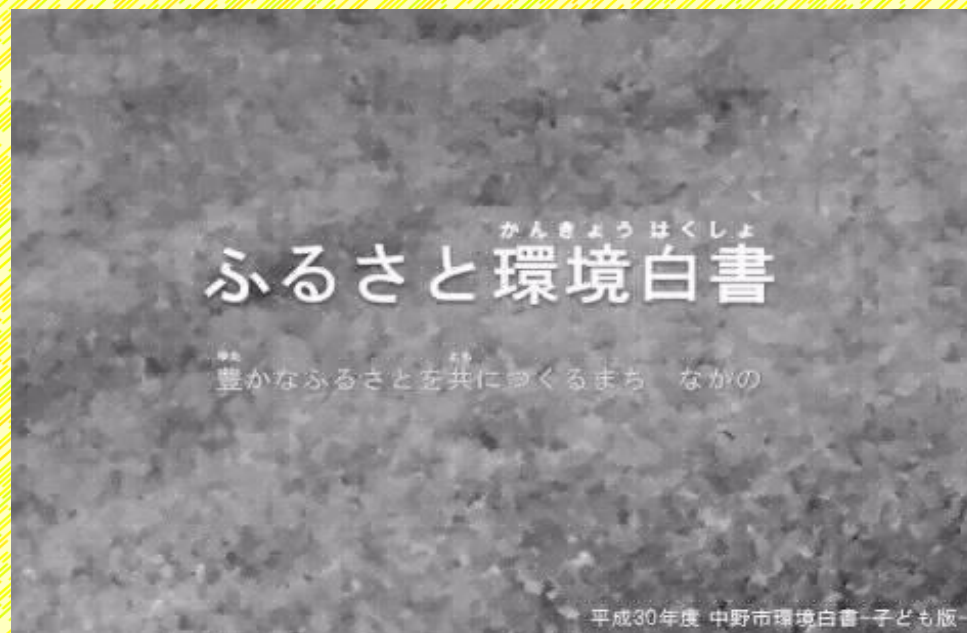
ながのけん ほくぶ しんしゅうなかの
長野県の北部に「信州中野」と
よばれるまちがあります



しょうか
そこでは唱歌「故郷（ふるさと）」に
ふうけい ひろ
うたわれている風景が広がっています



わたし ゆた し ぜ ん
私たちはこの豊かな自然からたくさんの
めぐ
恵みをいただいています



みどりゆた まも
緑豊かなふるさとを守りつづけるために
はくしょ やく さいわ
この白書がお役にたてれば幸いです



うさぎ追いかの山 こぶな釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れがたき故郷

ふるさと環境白書

中野市環境白書-子ども版-

こころざしをはたして いつの日にか帰らん 山は青き故郷 水は清き故郷



かんきょうはくしよ
「ふるさと環境白書」について

かんきょうはくしよ なかのしかんきょうはくしよ もと いまお かんきょうもんだい なかのし
 「ふるさと環境白書」は、中野市環境白書を基に、今起きている環境問題や中野市の環境保全にむけた取組を紹介したものです。

みな かんきょう りかい かいせつ
 皆さんが環境のことを理解していただくために、わかりやすく解説しています。

なかのし ゆた しぜん まも つづ みな とく
 これからの中野市の豊かな自然を守り続けるために、皆さんがどのように取り組むのか、そのヒントになればうれしく思います。

もくじ
目次

1. 中野市の環境基本計画のこと	3
2. みんなで学び行動するために	5
3. ごみを減らすために	7
4. 安心・安全なまちにするために	9
5. 豊かな自然を守るために	11
6. 地球環境にやさしいまちにするために	13
7. 皆さんへのメッセージ	15

かんきょうはくしよ おも へいせい ねんど ないよう か
 ※ この「ふるさと環境白書」は、主に平成30年度の内容を書いています。

かんきょう まな 環境を学ぶために

かんきょう ふか まな かんきょうしょう ながのけん なかのし さんこう
環境をより深く学ぶために、環境省や長野県、中野市のホームページも参考にして
ください。それぞれの環境白書などで詳しい内容を知ることができます。

環境省

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

長野県

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kurashi/kankyo/hozen/index.html>

中野市

<http://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2014011600355/>

かんきょう ほ ぜん

環境保全シンボルキャラクター



ゆた なかのし しぜん みな いっしょ
豊かな中野市の自然を皆さんと一緒に作る
シンボルキャラクターが誕生しました！

なまえ おんがく ちくまがわ
名前は「なかのん」です。音楽とバラと千曲川
ゆた しぜん えが ぼうし き い
など豊かな自然が描かれた帽子がお気に入り。
「なかのん」と一緒に環境を学びましょう！



なかのし かんきょうきほんけいかく

1. 中野市の環境基本計画のこと

なかのし めぐ しぜんかんきょう まも つぎ せだい ひきつ なかのしかんきょうきほんけいかく
中野市では、恵まれた自然環境を守り、次の世代へ引継いでいくため、「中野市環境基本計画」をつくり、
しみん みな じぎょうしゃ かた し きょうりょく かんきょう まも とりくみ
市民の皆さん、事業者の方、市が協力して環境を守る取組をしています。

しょうらい なかのし すがた かんきょうそう
将来の中野市の姿（めざす環境像）

みどり ゆたか とも
「緑豊かなふるさとを共につくるまちなかの」



かんきょうそう じつげん もくひょう さだ
この「めざす環境像」を実現するために、5つの目標を定めました。

1 **I** みんなで学び、
こうどう
行動する
まちにします

2 **II** ごみを減らし
しげん たいせつ
資源を大切にする
まちにします

3 **III** 安全・安心で
あんぜん あんしん
かいてき く
快適に暮らせる
まちにします

4 **IV** 豊かな自然を
ゆた しぜん
まも そだ
守り育てる
まちにします

5 **V** 地球環境に
ちきゅうかんきょう
やさしい
まちにします



この5つの目標を達成するための取組を定めました。ここでは、主なものを紹介します。

1 みんなで学び、行動するために

- 環境教育・環境学習の推進
- 環境情報の収集・発信
- 環境活動の支援



3 安全・安心なまちにするために

- 公害のない安全なまちに
- 緑の多いまちに
- 水環境を良くする



5 地球環境にやさしいまちにするために

- 省エネルギーの推進
- 低炭素型の交通環境の推進
- 再生可能エネルギー導入の推進



2 ごみを減らすために

- 資源のリサイクル
- ごみの適正処理
- 食品ロスの減量化
- ごみのポイ捨て対策



4 豊かな自然を守るために

- 農地・森林を守る
- 自然環境の調査・保全
- 外来生物の対策
- 自然環境を活かした観光・教育の実施



2. みんなで学び、行動するために

みんなでさんか!



市では、市民の皆さんが参加する自然観察会などのイベントや学校での環境学習を行うことによって、「みんなの参加」で環境について学び、考え、行動することをめざしています。



チョウゲンボウはハヤブサの仲間です

チョウゲンボウ応援団の活動

十三崖の繁殖地の周りで、探鳥会を行い、生態や営巣の状況、ほかの野鳥について学びました。
チョウゲンボウの生活の様子や応援団の活動をお知らせするために、ニュースレター「チョウゲンボウ新聞」を発行しました。

学校での環境学習

小・中学校では、教科学習や栽培活動、児童・生徒会活動を行い、環境について学んでいます。
小動物の飼育や花壇づくり、資源回収など幅広い活動で地域の身近な自然を考える力をつけています。



その他のイベントを紹介します

- 斑尾ふるさと祭り
- ホテル観察会
- 親子体験教室「あるある探検隊」
- 花のまちづくり など





しみん みな じぎょうしゃ かた し さんか きょうりよく かんきょう とりくみ おこな
 市民の皆さんや事業者の方、市が参加し、協力して環境の取組を行いました。

しみん じぎょうしゃ し きょうどう かんきょうほ ぜんかつどう
市民・事業者・市が協働した環境保全活動

- えきちゅうりんじょう せいそうかつどう
○ 駅駐輪場の清掃活動
- かせん あいごだんたい かせん かんきょうせい びかつどう
○ 河川愛護団体による河川の環境整備活動
- かんきょうぶん や かつどう しえん
○ 環境分野で活動するNPOへの支援
- じゅうざんがけ おうえんだん かんきょうせい び
○ 十三崖チョウゲンボウ応援団による環境整備



じゅうざんがけ おうえんだん かんきょうせい び
 十三崖チョウゲンボウ応援団による環境設備のようす

かんきょう じょうほう こうほうし はっしん
 環境の情報を広報紙・ホームページやSNSなどでわかりやすく発信しました。

かんきょうじょうほう はっしん
環境情報の発信

- し こうほうし とくしゅう き じ けいさい
○ 市の広報紙に特集記事を掲載しました。
- し じょうほうはっしん
○ 市のホームページで情報発信しました。
- し しせつけんがく ひがしやま
○ 市の施設見学のコースに東山クリーンセンターが追加されています。
- なかのしかんきょうはくしょ はっこう
○ 中野市環境白書を発行しました。

だい じ なかの しかんきょうきほんけいかく
第2次中野市環境基本計画

あら かんきょうもんだい たいおう なかの し ゆた かんきょう
 新たな環境問題に対応して、中野市の豊かな環境をつぎ
 つぎ せだい ひきつ だい じ なかの しかんきょうきほんけいかく
 次の世代に引継ぐため、第2次中野市環境基本計画
 をつくりました。計画期間は、2018（平成30）年度
 から2027年度までの10年間です。

かんきょうきほんけいかく し らん
 ※ 環境基本計画は、市のホームページでご覧いただけます。



3. ごみを減らすために

きちんと分別して
ごみを減らそう！



可燃ごみの約4分の1を占める生ごみを削減する取組をしました。
また、ごみをきちんと分別して、ビンや古紙、ペットボトルなどの資源物の回収を行いました。

中野市のごみの量は？

市のごみの量は、平成30年度は、初めて1万3000トンより少なくなりました。
市民一人あたりにすると、1年間で約300kgのごみを出したこととなります。

中野市のごみの量

年度	ごみの量 (トン)				リサイクル率 ※
	可燃ごみ	埋立ごみ	資源物	計	
H26	11,217	122	2,384	13,723	17.4%
H27	11,517	137	2,078	13,732	15.1%
H28	11,198	148	1,887	13,233	14.3%
H29	11,412	132	1,788	13,332	13.4%
H30	11,086	133	1,718	12,937	13.3%

※ リサイクル率 = 資源物 ÷ ごみの量 × 100

生ごみ堆肥化の助成制度

市では、生ごみ堆肥化機器などを購入した方に対して、費用の一部を助成しました。
生ごみの堆肥化機器には、台所で使う生ごみ処理機や畑で使うコンポストなどがあります。
毎年、30～50人の方がこの助成制度を利用しています。



資源物回収の取組を紹介します

- スーパーなどで日曜回収を行いました。
- せん定枝や陶磁器などを回収しました。
- 地域や学校などで資源回収が行われました。
- 高齢者だけの世帯など戸別に回収しました。
- 東京オリンピックなどのメダルをつくるため、使わなくなった携帯電話などを回収※しました。

※ 携帯電話などの回収は、平成31年3月31日に終了

みんなが生活をする^{せいかつ}と必ずごみ^{かなら}が出ます。でも、ごみ^でをごみとして処分^{しょうぶん}するのではなく、リサイクルすることで、ごみ^{あたら}がごみ^{しげん}ではなくなり、新しい資源^{しげん}になります。

中野市バイオマス産業都市構想

市^しでは、バイオマスの多く^{おお}を占める使用済み^しのきのこ^{しょうず}培地^{ばいち}や生ごみ^{なま}などをエネルギー^{たいひ}や堆肥^{つか}として使う^{つか}ことで、バイオマスの利用^{りよう}をすすめる^{へいせい}ため、平成27年度^{ねんど}に「中野市バイオマス産業都市構想^{なかのし}」をつくりました。

平成30年度^{へいせい}には、さらに変更^{ねんど}をした計画^{へんこう}の見直し^{けいかく}作業^{みなお}をはじめ^{さぎょう}ています。

主な目標（2024年度の目標）

- 使用済み^{しょうず}きのこ^{ばいち}培地^{たいひ}※は、95%を堆肥^{たいひ}などにします。
- 生ごみ^{なま}は、35%を堆肥^{たいひ}にします。
- せん定枝^{ていし}は、90%を燃料^{ねんりょう}にします。

中野市^{なかのし}では、毎年^{まいとし}10万トン^{まん}を超える^こ使用済み^{しょうず}きのこ^{ばいち}培地^でが出る^でんだよ。

※ きのこ栽培^{さいばい}には、「培地^{ばいち}」とよばれるおがくず^{こめ}や米ぬか^{しん}、トウモロコシ^{つか}の芯^{しん}などが使^{つか}われます。

不法投棄^{ふほうとうき}などの監視^{かんし}

不法投棄^{ふほうとうき}や違法^{いはう}な野外^{やがい}焼却^{しょうきゃく}を防^{ふせ}ぐため、環境^{かんきょう}公害^{こうがい}防止^{ぼうし}指導員^{しどういん}の方^{かた}や衛生^{えいせい}自治会^{じちかい}の皆さん^{みなさん}、市職員^{ししょくいん}が協力^{きょうりょく}して巡回^{じゆんかい}や防止^{ぼうし}看板^{かんばん}の設置^{せっち}などを行^{おこな}いました。不法投棄^{ふほうとうき}は犯罪^{はんざい}で、罰則^{ばつそく}※もあ^あります。

※ 個人^{こじん}は、5年^{ねん}以下の懲役^{いかにちゆうえき}、1千万円^{せんまんえん}以下の罰金^{いかにばつぎん}など

ごみ^{ごみ}の不法投棄^{ふほうとうき}は大切^{たいせつ}なまち^{まち}が汚れる^{よご}し犯罪^{はんざい}だから、みんな^{みんな}は絶対^{ぜったい}しない^{しない}ように！！





あんしん あんぜん

4. 安心・安全なまちにするために

あんしん
「安心」してらせる
かんきょう
環境をつくろう！



こうがい あんぜん こうがい はっせい とりくみ かんきょうそくてい おこな
公害のない安全なまちにするため、公害が発生しない取組や環境測定などを行いました。

こうがい くじょう そうだん 公害の苦情や相談

しみん みな こうがい くじょう そうだん う げんいん
市民の皆さんから公害※の苦情や相談を受けて、原因

ちょうさ げんいん ひと しどう じょげん おこな
の調査や原因となる人へ指導・助言などを行いました。

ねんかん くじょうけんすう けん
年間の苦情件数は、40～60件くらいになります。

なか おお くじょう たいきおせん やがいしょうきやく
その中でも多い苦情は、大気汚染（野外焼却など）や

すいしつおたく あぶら あくしゅう たいひ
水質汚濁（油もれなど）、悪臭（堆肥など）です。

こうがい ひと かつどう けんこう せいかつかんきょう しぜんかんきょう
※ 公害とは、人の活動によって健康や生活環境、自然環境

おお ひがひ げんしょう
などに大きな被害をもたらす現象をいいます。



ふほうとうき かいしゅう
不法投棄のごみを回収

野外焼却(野焼き)は原則禁止です！

かんきょうそくてい おこな 環境測定を行いました

みず よご かくにん ちくまがわ よま せがわ
水の汚れを確認するため、千曲川や夜間瀬川などの
かせん はまづが いけ まだら おお いけ こしょう いと ちか
河川や浜津ヶ池や斑尾大池などの湖沼、井戸の地下
すい すいしつけんさ おこな
水の水質検査を行いました。

そうおん ひせ こくどう くろま つうこう おお どう
また、騒音を防ぐため、国道などの車の通行が多い道
ろ じどうしゃ そうおん そくてい おこな
路では、自動車騒音の測定を行いました。

くわんほうしゃせんりょう そくてい 空間放射線量を測定しました

ひがしにほん だいにんせい げんしりょくはつでんしょ じ こ ほうしゃのう
東日本大震災での原子力発電所の事故による放射能の

おせん へいせい ねん がつ しちようしゃ がっこう ほいくえん
汚染のため、平成23年9月から市庁舎や学校、保育園

こうきょうしせつ くわんほうしゃせんりょう そくてい
などの公共施設で空間放射線量を測定しています。

そくていけっか そくていばしょ こくさいてき きじゅんち
測定結果は、すべての測定場所で、国際的な基準値※

したまわ
を下回っています。

こくさいほうしゃせんぼうごいんかい ねん かんこく ねんかんひ
※ 国際放射線防護委員会が2007年に勧告した年間被ばく

げんとりょう じかん
限度量のこと（1時間あたり0.19マイクロシーベルト）



こうきょうし せつ こうえん じゅうたく い がき し しみん みな さんか りょくか
 公共施設や公園、住宅の生け垣などに市民の皆さんが参加して、緑化をすすめました。
 せいかつはいすい てきせいしより じょうかそうせつちほじょ げすいどうふきゅうりつこうじょう
 また、生活排水の適正処理のため浄化槽設置補助や下水道普及率向上にとりくみ、
 みずかんきょうほ ぜん すいしん
 水環境保全を推進しました。

はな
花のまちづくり

し はな さくら にわき
 市では、花のまちづくりをめざして、桜の庭木などを
 はいふ だんたい みな えんどう う
 配布し、団体の皆さんが沿道などに植えました。
 はな まいとしかいさい
 また、「花のまちづくりコンテスト」を毎年開催し、
 おお し しみん みな おうほ
 多くの市民の皆さんが応募されています。



りょくかな えぎはんぶかい
緑化苗木頒布会

しみん みな りょくかかつどう しんりんあいご きも
 市民の皆さんの緑化活動と森林愛護の気持ちを
 はぐく みどりゆた す きょうど
 育み、緑豊かな住みよい郷土づくりをすすめるため、
 な えぎ むりょう
 レンゲツツジ、ブルーベリーなどの苗木を無料で
 はいふ
 配布しました。



てきせい はいすいしより
適正な排水処理

かわ うみ よこ こうじょう はいすい
 かつて、川や海を汚していたのは、工場などからの排水
 いま ほうりつ きせい はいすい よこ へ
 でしたが、今では法律などの規制で、排水の汚れは減
 か わたし うち で はいすい よこ めだ
 り、代わりに、私たちの家から出る排水の汚れが目立っ
 げすいどう せつぞく じょうかそう せつち てきせいかん
 てきました。下水道への接続や浄化槽の設置・適正管
 り みずかんきょう まも たいせつ とりくみ
 理が水環境を守る大切な取組です。



りょくかな えぎはんぶかい
 緑化苗木頒布会のようす

5. 豊かな自然を守るために



じゅうさんがけ きちょう どうしょくぶつ のうちほぜん しぜんかんきょう うしな ほぜん
 十三崖のチョウゲンボウなど貴重な動植物や農地保全など自然環境が失われないように保全しました。

じゅうさんがけ かんきょうほぜんちょうさ 十三崖チョウゲンボウ環境保全調査

じゅうさんがけ はんしょくち ぼくばっさいさぎょうとう こうか
 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地のかん木伐採作業等の効果や
 こんご ほごかつどう けんとう こうどう えさ
 今後の保護活動の検討をするため、チョウゲンボウの行動や餌
 りょうすいてい おこな ちょうさ こうどう はんい りょうかんきょう しら
 量推定を行うモニタリング調査、行動の範囲や利用環境を調
 かんきょうせいだいちょうさ おこな
 べる環境生態調査を行いました。
 ちょうさけっか こんごぶんせき じゅうさんがけ はんしょくち かん
 調査結果は、今後分析し十三崖チョウゲンボウ繁殖地の環
 きょうほぜんかつどう い
 境保全活動に生かしていきます。

じゅうさんがけ はんしょくち しゅうだんはんしょく
 ※「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」は、チョウゲンボウが集団繁殖する
 せかいてき がけち
 世界的にもめずらしい崖地です。

ちいきしょくざい りょう ちさんちしょう 地域食材の利用（地産地消）

た きゅうしょくしょくざい やく わり じもとのうさんぶつ
 みなさんが食べている給食食材の、約6割で地元農産物を
 りょう じもと そだ しんせん あんしんあんぜん のう
 利用しています。地元で育てられた、新鮮で安心安全な農
 さんぶつ りょう じもと のうか はげ
 産物を利用することで、地元の農家のみなさんの励みにもなり、
 けっか のうち まも
 その結果、農地が守られることにもつながります。



のうちほぜん 農地の保全

しょくもつ そだ のうち こうけいしゃふそく りゆう たがや
 食物を育てる農地は、後継者不足などの理由で耕され
 のうち ざっそう ざつぼく お しげ しゅう
 ずに、農地がそのままとなり、雑草や雑木が生い茂り周
 へんかんきょう えいきょう およ のうちりょうきぼうしゃ
 辺環境に影響を及ぼします。農地利用希望者へのマッ
 ゆうきゅうこうはいのうち さいせい かつどう しえん おこな
 チングや、遊休荒廃農地を再生する活動への支援を行
 のうちほぜんかつどう おこな
 うなどし、農地保全活動を行いました。

ち い き せいたいけい あくえいきょう およ がいらいせいぶつ くじょ おこな
地域の生態系※に悪影響を及ぼす外来生物の駆除を行いました。
 さとち さとやま も もくざい せいさんのうりよく めぐ かつよう
また、里地・里山が持っている木材の生産能力などの恵みを活用しました。

みちか しぜん かつよう
身近な自然を活用しよう！



※ 生態系とは、植物や動物、微生物といった生き物とそれらを取り巻く自然環境を合わせたものをいいます。

がいらいせいぶつ くじょ
外来生物の駆除

かせん あいごだんたい きょうりょく とくていがいらい
河川愛護団体などの協力をいただき、特定外来
 くじょ おこな
生物※のアレチウリの駆除を行いました。
 し こうほうし くじょ ほうほう
また、市の広報紙でアレチウリの駆除の方法などを
 し
お知らせしました。

がいらいせいぶつ にほん がいこく も こ
 ※ 外来生物はもともと日本にいない外国から持ち込まれた
 い もの かんきょう わる えいきょう およ がいらいせいぶつ くに
 生き物のこと。環境に悪い影響を及ぼす外来生物を国の
 ほうりつ とくていがいらいせいぶつ してい
 法律で「特定外来生物」に指定しています。



ちくまがわ
千曲川ラフティング

しぜんかんさつかい ちくまがわ
自然観察会「千曲川ラフティング」

なつやす きかんちゅう やく しゅうかん こ おとな
夏休み期間中の約1週間、子どもから大人までが
 さんか しぜん かわくだ
参加して、自然とふれあいながら川下りを楽しみま
 しぜん した みずべ い もの かわ よう
した。自然に親しみながら、水辺の生き物や川の様
 す かんさつ しぜん たいせつ かんが
子を観察し、自然の大切さを考えるきっかけにするこ
 もくてき
とを目的にしています。

じゅうようさとちさとやま
重要里地里山500

かんきょうしょう こくど せいぶつたようせい ほぜん
環境省では、国土の生物多様性を保全するために
 じゅうよう さとちさとやま ひと い もの く まじ ゆた
重要な里地里山（人と生き物の暮らしが交わる豊
 かんきょう しょ えら
かな環境）を500か所を選んでいます。
 なかのし ながえちく おおひらやまいったい さとやま えら
中野市からは永江地区の大平山一帯の里山が選
ばれています。

6. 地球環境にやさしいまちにするために

ちきゅうおんだんか いじょうきしょう お いもの
地球温暖化で、異常気象が起きたり、生き物が
い 生きられなくなったり、海面が上がるかもしれないよ



にちじょうせいかつ しょうひ しげん さくげん しょう がたしゅかい とりくみ
日常生活などで消費するエネルギーや資源を削減し、省エネルギー型社会となる取組をしました。

たいようこうはつでん ねんりょう しん かつよう とりくみ
また、太陽光発電やバイオマス燃料などの新エネルギー※を活用する取組をすすめました。

しん たいようこうはつでん ふうりょくはつでん さいせいかのう しぜん
※ 新エネルギーとは、太陽光発電、風力発電、バイオマスなどの再生可能な自然エネルギーなどをいいます。

市役所新庁舎に太陽光発電を導入

へいせい ねん がつ かいちよう しやくしよしんちようしや おくじよう たいようこう
平成30年2月に開庁した市役所新庁舎の屋上に太陽光
はつでんせつび せつち たか だんねつせいのう くうちようこうりつ
発電設備を設置しています。高い断熱性能があり空調効率
しぜんかんき どうにゅう みどりゆた なかのし
がよく、自然換気システムを導入するなど緑豊かな中野市の
きこうふうど ちようわ たてもの
気候風土に調和した建物です。



しやくしよ たいようこうはつでんせつび
市役所の太陽光発電設備

公共交通を利用しよう

でんしや こうきようこうつうきかん りよう
電車やバスなどの公共交通機関を利用することで、マイカー
しよう ひか しょうひ へ
の使用を控えガソリンの消費を減らすことができます。
なかのし こうきようこうつう りようきんひょう さくせい ていりゅう
中野市公共交通マップや料金表を作成したり、バスの停留
しよ みなお おこな くふう おお しみん みな
所の見直しを行うなどの工夫をして、多くの市民の皆さんに
りよう かんきようせいび おこな
利用しやすい環境整備を行っています。

地域バイオマスの産業化

しようす ばいち ていし がら げんりよう
使用済みきのご培地、せん定枝、もみ殻などを原料
か はつでん ちようさ おこな
としたガス化発電の調査を行いました。
こんご じぎょうしや かた おこな ちいき じゅんかん
今後、事業者の方が行う地域バイオマスの循環など
とりくみ かつよう にさんかたんそ はいしゅつりよう さくげん
の取組に活用し、二酸化炭素の排出量が削減する
ことをめざします。

べんり もと せいかつ みなお たいせつ つか せいさん はいき はっせい にさんかたんそ
 便利だけを求めた生活を見直し、ものを大切に使い、生産や廃棄によって発生する二酸化炭素などの
 おんしつこうか はいしゅつりょう さくげん
 温室効果ガス※の排出量を削減します。

※ 温室効果ガスとは、地球の表面から出る熱を吸収して、地球の温度を保つ性質をもった気体です。

中野市地球温暖化防止実行計画

市の事務や事業によって排出される温室効果ガスの削減
 にむけた取組を定めた計画です。計画では、2014年度に
 対し2020年度の二酸化炭素※の排出量を6パーセント
 削減することを目標にしています。

二酸化炭素排出量の削減目標

2014年度
9,822トン



2020年度
9,233トン

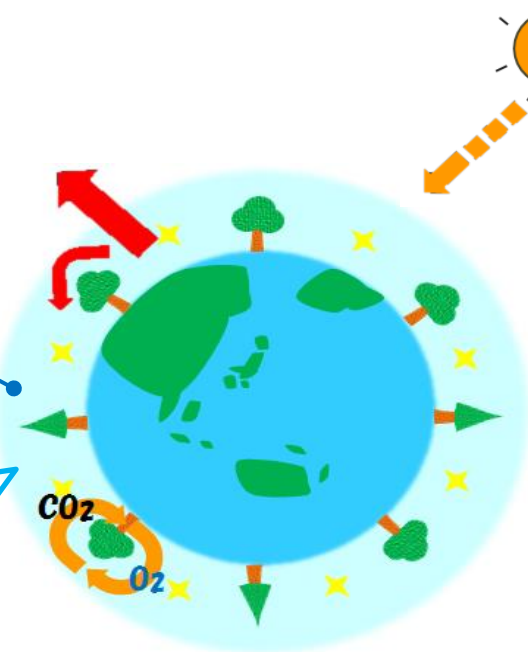
※ 二酸化炭素は、ものを燃やすと出てくる気体です。

地球温暖化のしくみ

宇宙に余分な熱が放出される

地球を温めている温室効果ガス
 の層は適度な濃さでした

木や草は光合成をして
 CO₂ (二酸化炭素) を吸収し
 O₂ (酸素) を出しています



昔は二酸化炭素の排出が少ない生活でした

余分な熱が残ってしまう

二酸化炭素などが増えて、温室
 効果ガスの層は濃くなりました

工場や自動車が増えました



今は二酸化炭素の排出が多い暮らしに

7. 皆さんへのメッセージ

環境のために、自分でどんな行動ができるのか考えましょう。

1 みんなで学び、行動するために

みんな参加で環境問題に取り組もう！

環境について学ぼう

ふるさと環境白書を読んで
環境問題について知る



環境について考えよう

自分ができていることを探したり
周りの人と話し合ったりする



できることから実行しよう

学校や家で自分ができ
ることを実行する



2 ごみを減らすために

「3 R」に積極的にチャレンジしよう！

Reduce

使う資源やごみの量を減らす

- 必要のない包装は断る
- レジ袋を断る など



Reuse

ものをくり返し使う

- 壊れても修理して使う
- いらぬものは人に譲る など



Recycle

使い終わったものを再び利用

- ごみの分別をする
- 古紙を資源回収に出す など



3 安心・安全なまちにするために

不法投棄やポイ捨てをなくそう！

ごみステーション

ごみはごみステーションに
ルールを守って出す



関係機関に連絡

不法投棄を見つけたときは
市役所などへ連絡する



清掃活動に参加

地域の清掃活動などに
積極的に参加する



ゆた しぜん まも
4 豊かな自然を守るために

しぜん
自然にふれよう

しぜん なか で しぜん
自然の中へ出かけて、自然
い もの
や生き物にふれる



めぐ ゆた しぜん まも つつ
恵み豊かな自然を守り続けよう！

しぜん つた
自然を伝えよう

しぜん かん
自然のすばらしさを感じて、
かぞく ともだち つた
家族や友達に伝える



しぜん まも
自然を守ろう

しぜん い もの かんさつかい
自然や生き物の観察会や
ほ ご かつどう さんか
保護活動などに参加する



ちきゅうかんきょう
5 地球環境にやさしいまちにするために

じぶん かんが
自分でできることを考えよう



れいぼう だんぼう
冷房は28℃、暖房は20℃にする



み じかん ずく
テレビを見る時間を少なくする

く みなお ひとり こうどう
暮らしを見直して、一人ひとりが行動しよう！

ともだち かぞく かんが
友達や家族でできることを考えよう



いえ おな へ や
家では同じ部屋ですぐす



ふろ つづ はい
お風呂は続けて入る

かんきょうはくしょ なかのしかんきょうはくしょ こばん れいわがんねんど
ふるさと環境白書 - 中野市環境白書 (子ども版) - (令和元年度)



はっこう
発行
へんしゅう
編集


なかのし
中野市

ぶんか ぶんかんきょうか
くらしと文化部環境課

ながのけん なかのしみよしちょういっちょうめ ばん こう
長野県中野市三好町一丁目3番19号

でんわ

電話:0269-22-2111 E-MAIL : kankyo@city.nakano.nagano.jp

An aerial photograph of a vast field of flowers. The top half of the image is dominated by bright yellow flowers, while the bottom half is filled with green foliage and numerous small purple flowers. The overall scene is vibrant and colorful.

 中野市